



社会保険がいよいよです！！ 至急対応願います！！

前々からお伝えしておりました、社会保険加入問題がいよいよ間近に迫ってきました。ゼネコン、サブコン各社より対応願いが来ております。既に対応いただいている下請さんもありますが、まだの会社さんもいらっしゃいますので今一度のお願いです。某サブコンの対応をもとに今回はお伝え致します。

2017年4月1日(土)以降、すべての再下請負契約において社会保険未加入業者とは工事契約ができなくなり、また、社会保険未加入の作業員は**特段の理由**(下記参照)がない限り、現場入場ができなくなります。

→当該作業員が現場入場時点で60歳以上であり、厚生年金に未加入の場合。
(雇用保険に未加入の場合はこれに該当しない。)

→例えば、伝統建築の修繕など、当該未加入の作業員が工事の施工に必要な特殊能力を有しており、その入場を認めなければ工事の施工が困難となる場合。

→当該作業員について社会保険への加入手続き中であるなど今後、確実に加入することが見込まれる場合。

【今号の主な内容】

- P① 社会保険加入について
- P② 労働災害防止強化月間
- P③ 安全祈願 川崎大師
- P④ ことわざ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

建設業年度末労働災害防止強調月間

- ◎本期間：平成29年3月～3月31日
- ◎主催：建設業労働災害防止協会
- ◎後援：厚生労働省、国土交通省



会長メッセージ

平成28年度の建設業年度末労働災害防止強調月間を迎えるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

第7次建設業労働災害防止5カ年計画は、計画期間中の労働災害による死亡災害を20%以上、休業4日以上之死傷災害を15%以上減少させるという目標を立て、平成25年4月からスタートして間もなく4年が経過し、5年目の最終年度に入っております。

この間、技能労働者の不足、建設就業者の高齢化、若年労働者の入職の減少などの課題を抱えながら、会員各位をはじめ関係者の皆様方が積極的に労働災害防止活動に取り組んでいただいた結果、平成28年の建設業における労働災害の発生状況は、死亡災害および休業4日以上之死傷災害ともに過去最少を記録した前年に比べて、さらに減少することが見込まれています。しかしながら、第7次建設業労働災害防止5カ年計画の目標を達成するには、死亡・重篤災害に繋がる墜落・転落災害等の三大災害に重点を置いた労働災害防止対策の徹底を図る必要があります。

今後、防災・減災のためのインフラ整備等の工事、東京オリンピック・パラリンピック、リニア中央新幹線関連工事が本格化し、人材の確保がさらに難しくなるとともに、新規参入者の増加が予想されています。このような状況の下で、労働災害が増加することのないよう労働災害防止対策のより一層の徹底が求められています。

特に、これから迎える年度末は、完工時期を迎える工事が多く、さまざまな作業が輻輳して行われることとなり、労働災害の多発が危惧されます。

このため、当協会では、本年3月1日から31日までを「建設業年度末労働災害防止強調月間」と定め、この期間中における労働災害防止活動の一層の推進を図るため本実施要領を作成いたしました。会員各位におかれましては、本実施要領を参考に、現場の実情に即した実施計画を作成し、店社と作業所が一体となって、労働災害防止活動を積極的に展開されますようお願い申し上げます。

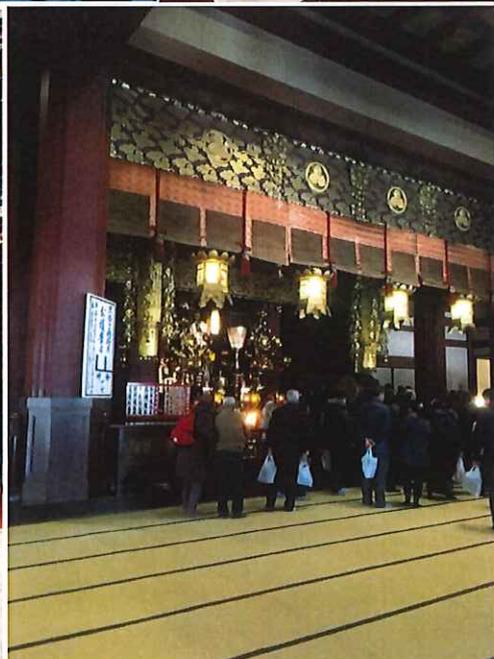
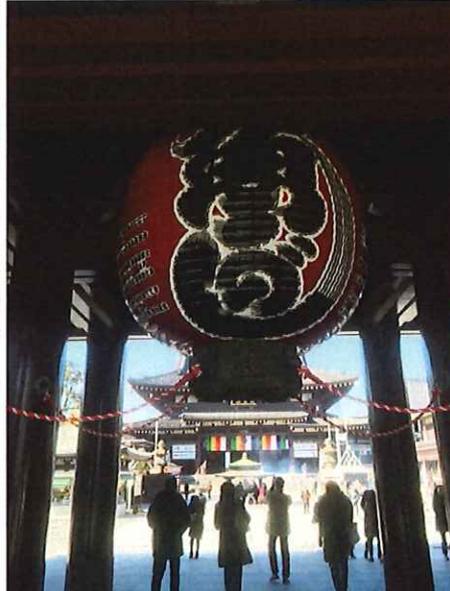
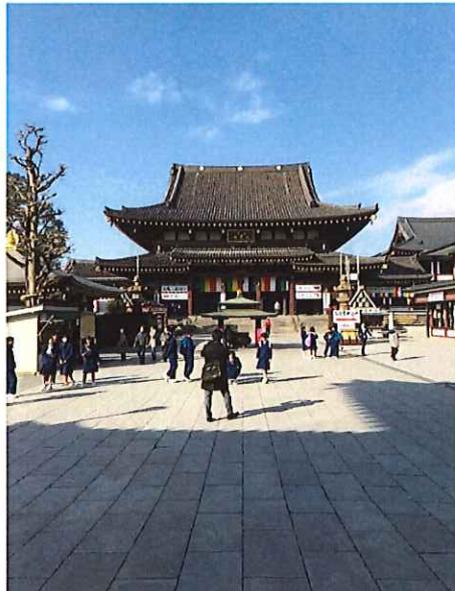
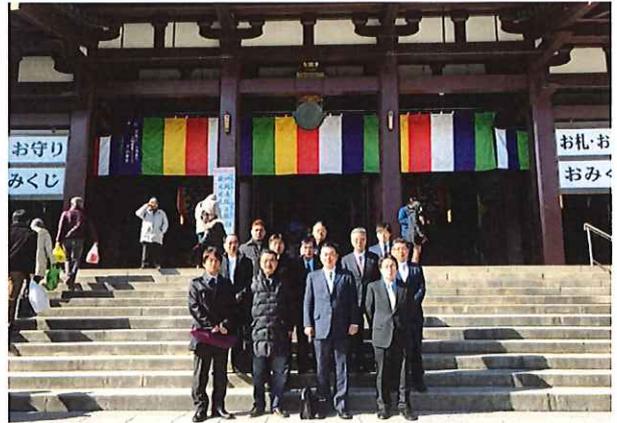
最後に、皆様方が年度末を無事故・無災害で締めくくり、新年度を迎えられますよう祈念し、ご挨拶といたします。

平成29年2月

建設業労働災害防止協会
会長 銭高一善

平成29年2月1日 安全祈願

平成29年2月1日
野田工業(株)研究会の活動で、安全衛生協力会の幹事と共に川崎大師に安全祈願して参りました。
野田工業(株)は3年間、無事故無災害を継続しています。
また今年も1年間無事故無災害で安全作業に取り組みましょう。



ことわざ・格言にならう安全衛生訓

● 背中の子を三年探す ●

・まず身近の整理・整頓を

自分の背中にその子供を背負っているのに「子供がいない、子供がいなくなった」と大騒ぎして探すことで、近くに探しているものがあるのに、わざわざ遠くを探す愚かさの例に使われます。「ロバに乗ってロバを探す」「メガネをかけてメガネを探す」というのもこの類です。

日ごろから身近の整理・整頓が悪いと、こういうことになりかねません。自分の整理・整頓に自信が持てないため、このことわざのように本能的に遠くを探すようです。

ある職場では、作業時間の20%が物を探している時間だったという調査もあるくらいです。日頃からきちんと整理・整頓を行っていないと、必要な者が必要なときに無いため、イライラするものです。そして、間に合わせの道具で事故を起こしたり、探している者が気になって不安全な動作に結びついたりします。

自分を含めて、みんなが時間を浪費して探し物をせずにするよう、ルールに従って常に整理・整頓を実施し、スムーズに安全作業が出来る環境づくりを心がけましょう。



【 職長会のお知らせ 】

★日時 平成29年3月21日(火)

★時間 18時00分～

★会場 銀座ユニーク 3階

